

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成30年(2018)

皇紀2678年

天皇陛下御在位30年奉祝

平成30年わかば祭り(春の大祭)号【第111号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

全国唯一の姉妹神社のこと	2頁
わかば祭り(春の大祭)のご案内	3頁
杜の話題	5頁
大宮八幡の杜 春から夏へ	8頁
第5回フォトコンテスト作品募集中	9頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	10頁
わかば祭り社頭風景	12頁



こどもの祭り(稚児健康祈願祭)

全国唯一の姉妹神社のこと

宮司 鎌田紀彦

今年はお彼岸より一週間早く境内の辛夷(田打ち桜)が咲き始め、桜の開花宣言の頃は、真白い可憐な花々で木全体が被われておりました。大宮八幡に春を告げる花なのです。

21日の春分の日、朝からの小雨が霽となり、やがて雪となり花冷えがしていました。

それでも24日には桜も満開となり、月末には散り始めていました。今年程花の命は短く、花の憐れを感じるとともに桜前線が慌ただしく駆け抜けて行った年はないでしょう。

今年の旧暦の初午は3月27日で、当宮と全国唯一の姉妹神社の竹駒神社では4月2日まで一週間に亘りみちのくに春を呼ぶお祭りとして初午大祭が斎行されました。毎年初午の5日目(今年は31日)の例祭に、本年も姉妹神社としてお招きを受けて、当宮の責任役員2名に同道して参列させて頂きました。

毎年前夜には、仙台の奥座敷、秋保温泉の銘湯「佐勘」でご招宴があり、翌日の例祭の晴天を祈る晴れまつりとしてご接待を受けております。

伝承千年の宿で、嘗ては宮中に献上されて御湯と云



わたる銘湯に浸り疲れを癒している内に、竹駒神社の宮司様を始め役員の方々のお出迎えを

頂き、懇親会が始まりました。

銘酒「浦霞禪」に地酒の大吟醸酒や赤白のワインも取り揃えられ、佐勘の料理長の心尽くしの旬の御献立に依りおもてなしを受けました。仙台の綺麗どころによる藤間流の日本舞踊もありました。お互いに役員の方々の交流も深まり、美酒を頂き馳走に舌鼓を打ちつつ、楽しく過ごしている間に時が流れお開きの時を迎えていました。

桜前線も北上して仙台地方は29日に開花宣言がなされたとの事ですが、お見送りの為、玄関の外へ出ると望の前後の月が煌々と照り輝き肌寒く、明日のみちのくに春を告げる例祭は、きつと晴天のもとに執り行われることと思われました。

翌日(当日)、朝9時に竹駒神社よりお出迎えを頂き車で凡そ40分程で神社へ到着致しました。祭典まで時間がありまして境内を散策すると境内末社に八幡神社が在り、昨年の御屋根替えて綺麗に整備されておりました。ここには大宮八幡宮の御神札(木札)もお祀りされておりますので一同でお参り致しました。

実は、当宮の境内末社にも大宮稲荷神社があり、例祭にお参りする度に、御神札をお受け致し竹駒神社をお祀りさせて頂いているのです。

又、竹駒神社でも当宮の例祭にお参りになった時、当宮の御神札をお受け頂きお祀り下さっております。

やがて時間となり、集合写真撮影のあと、ご神前に参進。神社本庁の献幣使として宮城県神社庁長が参向され、祭典は

肅々と斎行されました。献饌、宮司の祝詞奏上に続き献幣使の奉幣、祭詞奏上に巫女4名の舞姫に依る浦安舞の奉奏と進み厳粛かつ盛大に行われました。

竹駒の稲荷大神様のご神威が一段と高められたご神前に類づき、大神様の廣大無辺な恩顧を戴くことが出来ました事を感謝しております。

祭典後参集殿にて直会が賑々しく開催され、ご参会の方々や役員総代の皆様と更に親しく交流を深め、時刻、新幹線仙台駅まで送車頂き帰途につきました。

姉妹友好神社の提携は、当宮前宮司千葉博男様が、かつて御尊父やご義兄様が宮司を勤めておられた実家の竹駒神社の役員様方より、宮司就任について強い懇請を受けられて赴任が決まったことによりです。その後任として小職が明治神宮より転任してまいりました。謂わば千葉宮司様のご縁に依り、当時の両社の役員様方のお計らいに依りて姉妹神社として交流を深めていこうとの約束ごとが執り交わされました。

平成10年7月1日に神社本庁に於いて、私も各々の転任辞令を拝受致しましてから、今年で二十年が経過しようとしていきます。

先ず平成10年9月15日の当宮例祭に、竹駒神社の千葉宮司様を始め役員様方にお参り頂き、翌11年3月竹駒神社初午大祭例祭に当宮役員2名に同道して随行と共に参列させて頂いたのが第1回目でありました。

しかしながら平成23年の初午大祭の例祭は東日本大震災で新幹線不通の為、参列が叶わず19回に亘り参列させて頂いたことになりました。

姉妹神社交流20年の節目に当たり、この

交流関係を今後とも存続し、更なる友好の実を挙げることを再確認させて頂くことができました。因みに今年の当宮例祭は9月16日(日)に斎行されます。

いよいよ草木も芽吹き始め、萌え出す若葉の杜のわかば祭り(春の大祭)が巡って参ります。

今年は今上陛下ご在位30年の佳節を奉祝するとともに、両陛下への感謝の誠を捧げ、ご皇室を中心とする我が国の隆昌と世界の平和を祈念します。今年の五穀豊穡を中心にあらゆる産業の発展とご家業のご繁栄はもとより氏子・崇敬者のご家庭のご平安をお祈りさせて頂きます。

古来より春のお祭りは、秋のお祭り新嘗祭(にいなめのまつり)と二対の祈年祭(としごいのまつり)であります。年は稲を表し、春に稲(奥津御年)を始め五穀の豊穡を神々にお祈りし、秋にはその収穫の品々で神々におもてなしをして感謝するお祭りで、その時の供え物を神々よりの賜り物(食べ物)として頂いてきました。

神々と同じものを頂くことに依りて神々より更なる生命力(恩顧)を頂いて来たという神人共食の信仰でもあります。秋の大祭(大宮八幡祭)や新嘗祭が盛大に斎行されますようご祈願を致します。

尚、今年第40回目の稚児行列となりますので、睦会、氏子青年会ご奉仕で「御神輿の渡御」も計画されております。又、表参道では恒例の春の風物詩「大宮八幡植木市」も開かれます。

多くの氏子・崇敬者のご参詣を頂き大神様と更なるご神縁を重ねられ、活力ある楽しい日々をお過ごし下さいますようお祈り申し上げます。(平30・4・3記)

天皇陛下御在位30年奉祝

わかば祭り(春の大祭)



表参道では大宮八幡植木市が大祭期間中の3日より5日まで開催されます。参道には、色鮮やかな花々や新緑の苗木、園芸用品などが並べられ、それらを求めて多くの参拝者が訪れます。また植木の他、露店も多く立ち並び賑わいます。

大宮八幡 植木市

今年も風薫る青葉若葉の好季節が巡ってまいりました。当宮では、わかば祭り(春の大祭)を5月3日より5日まで斎行致します。4月29日にはまず昭和解が、昭和天皇のご聖徳をお称え申し上げ厳かに斎行されます。大祭初日の、3日には第一日ノ儀こどもの祭り(稚児健康祈願祭)、第40回稚児行列、御神輿渡御が行われます。4日には、第二日ノ儀に併せて挙式者の集い開催奉告、第18回若葉inおみや(神職の唄ひ手 涼恵氏のコンサート)と午後には植樹祭が行われ苗木が授与されます。そして5日午前10時より春の大祭当日祭(尚武祭)が斎行され、皇室国家の安泰・五穀豊穡ご感謝の誠を捧げて、天皇陛下御在位30年を寿が祈念されます。大祭の奉祝行事としては、4月29日の弓道奉納射会を始めとして3日より5日まで表参道での植木市や露店、またご社殿前では様々な神賑行事が奉納され、大勢の参拝の方々で賑わいます。尚、12日には御在位30年を奉祝して、第19回茶道裏千家献茶式が行われます。



今年も風薫る青葉若葉の好季節が巡ってまいりました。当宮では、わかば祭り(春の大祭)を5月3日より5日まで斎行致します。4月29日にはまず昭和解が、昭和天皇のご聖徳をお称え申し上げ厳かに斎行されます。大祭初日の、3日には第一日ノ儀こどもの祭り(稚児健康祈願祭)、第40回稚児行列、御神輿渡御が行われます。4日には、第二日ノ儀に併せて挙式者の集い開催奉告、第18回若葉inおみや(神職の唄ひ手 涼恵氏のコンサート)と午後には植樹祭が行われ苗木が授与されます。そして5日午前10時より春の大祭当日祭(尚武祭)が斎行され、皇室国家の安泰・五穀豊穡ご感謝の誠を捧げて、天皇陛下御在位30年を寿が祈念されます。大祭の奉祝行事としては、4月29日の弓道奉納射会を始めとして3日より5日まで表参道での植木市や露店、またご社殿前では様々な神賑行事が奉納され、大勢の参拝の方々で賑わいます。尚、12日には御在位30年を奉祝して、第19回茶道裏千家献茶式が行われます。

第40回稚児行列巡行・御神輿渡御

3日はまず、第一日ノ儀こどもの祭り(稚児健康祈願祭)が行われ、午後2時半より稚児行列が斎行されます。社殿前での記念撮影の後、佼成学園吹奏楽部を先頭に猿田彦、陣羽織姿の役員総代、りんどう会役員の供奉に続いてお稚児さんたち、BS・GS、飛び入り参加自由の太鼓山車曳きのこどもたち、総勢400人を超える行列が神門を出発、神社周辺の1.3キロを練り歩きます。稚児は神々の依代として、その奉仕をすくと健やかに成長するといわれています。尚、今年の第40回稚児行列を奉祝して睦会、氏子青年会に依り御神輿の渡御も行われます。



苗木授与と献木のご願い

大宮八幡宮植樹祭が5月4日(みどりの日)午後2時より斎行されます。当宮みどりの会主催で第69回全国植樹祭に因んで開催され、各家庭にも緑を拡げる運動の一翼としてご参列の方々先着200名様にご観葉植物が授与されます。又、皆様方より献木のご協賛をご社頭で承っております。献木初穂料一口 一〇〇〇円



※年間を通じて承っております。

わかば祭り祭典と奉納神賑行事

- 祭典
- 昭和祭
- 朔日祭並びに躰踏育木祭
- わかば祭り第一日ノ儀
- こどもの祭り(稚児健康祈願祭)
- 第40回稚児行列巡行
- 奉祝御神輿渡御
- わかば祭り第二日ノ儀
- 植樹祭(苗木授与先着200名)
- わかば祭り当日祭(尚武祭)
- わかば祭り終了奉告祭(直会乃儀)

神賑行事

- 春の弓道奉納射会
- 古武道武技奉納
- 佼成学園吹奏楽部奉納演奏
- 第18回若葉inおみや
- 第18回奉式者の集い
- 杉並太鼓奉納演奏
- 野点茶会
- (裏千家淡交会東京第6西支部)
- 方南エイサー踊り奉納
- 雅太鼓奉納演奏
- 奉納献燈提灯
- 園児画展
- みどりの会即売
- スカウトバザー
- 大宮八幡植木市
- 盆栽展示会・即売会
- 露店

第19回茶道裏千家 献茶式

5月12日



3月25日から4月1日にわたって桜まつりが開催されました。当宮境内より和堀公園内の善福寺川沿いには数千本の桜があり、時季になると一斉に開花して目を楽ませてくれます。期間中の土曜・日曜は午後8時まで開門し、和堀公園への往来も自由にできます。25日と31日の両日には神楽殿にて夜桜の神遊びを開催し、神楽舞と雅楽がライトアップされた桜の中、奉奏されました。

大宮八幡桜まつり開催

3月25日から4月1日にわたって桜まつりが開催されました。当宮境内より和堀公園内の善福寺川沿いには数千本の桜があり、時季になると一斉に開花して目を楽ませてくれます。期間中の土曜・日曜は午後8時まで開門し、和堀公園への往来も自由にできます。25日と31日の両日には神楽殿にて夜桜の神遊びを開催し、神楽舞と雅楽がライトアップされた桜の中、奉奏されました。



勸学祭ランドセルお祓い式

小学校入学を祝い、お子様の成長を祈念する勸学祭・ランドセルお祓い式が、3月24日・25日に執り行われました。大きなランドセルを背負った新生児たちが緊張した面持ちで参列し、子育て八幡さまのご加護を戴き6年間の学校生活の充実と交通安全を祈願いたしました。

大宮八幡宮花だより

神門前手水舎の辺りに、3月中旬になると辛夷の花が満開になります。桜の開花を知らせるように見事に咲きました。



立正佼成会杉並教会 和田第一支部参拝

2月18日、立正佼成会杉並教会和田第一支部、太田支部長様以下25名の皆様が来宮、正式参拝されました。



2月11日は、神武天皇様が初代天皇として橿原の宮に即位され、わが国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿にて紀元を祝い、その上を偲び皇室国家の繁栄・国運の隆昌と世界の平和を祈念し、紀元祭を斎行。次いで清涼殿の特設齋場にて檀原神宮遥拝。「紀元節」の歌を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳を三唱。皇紀2678年をお祝いしました。

紀元祭並橿原神宮遥拝

2月11日は、神武天皇様が初代天皇として橿原の宮に即位され、わが国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿にて紀元を祝い、その上を偲び皇室国家の繁栄・国運の隆昌と世界の平和を祈念し、紀元祭を斎行。次いで清涼殿の特設齋場にて檀原神宮遥拝。「紀元節」の歌を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳を三唱。皇紀2678年をお祝いしました。

伊勢参宮旅行



恒例の伊勢参宮旅行が2月20日より2泊3日の旅程にて行われました。今回の参宮旅行には25名が参加。一行は東京駅より新幹線で名古屋へ行き、バスに乗り換えて伊勢神宮に向かいました。まず、外宮を御垣内参拝してから崇徳会館にて昼食をとりました。その後、内宮を御垣内参拝、御神楽を奉納し、鳥羽湾を望む「鳥羽シーサイドホテル」に宿泊。2日目は、滋賀県に向かい近江商人屋敷・八年庵を見学し、近江八幡市内で昼食をとり、日牟禮八幡宮を正式参拝。次いで「ラコリーナ近江八幡」に立ち寄り買物の後、近江源氏の氏神、沙沙貴神社を参拝。琵琶湖畔を走り雄琴温泉「花街道」に宿泊。3日目は、日吉大社を参拝後、京都に向かい天台五門跡の一つ南叡山妙法院を特別参拝。その後新日吉神宮を参拝し、ゆば料理の昼食後、京都駅より新幹線で帰路につきました。



日牟禮八幡宮

平山郁夫画伯の絵画が

3月22日、平山郁夫画伯の「シルクロードを行くキャラバン(東・太陽)」(彩美版200)が奉納されました。平山画伯のお孫さんである平山洋君は國學院大學別科神道専修をこの3月に卒業し、当宮での神務実習も修了されました。その記念に、画伯夫人美知子様と御母堂の弥生様が参拝され、奉納されました。



りんどう会だより

1月15日、とんど焼き神事(古神矢土神札焼納祭)に併せて、恒例の厄除けぜんざいの授与奉仕を行いました。今年一年の無病息災を願って、ご神火をいただいた作られるぜんざいは、多くの参詣の方々にお召し上がりいただきました。また、春の大祭を前に御垣内清掃奉仕が行われました。りんどう会では随時会員を募集しております。お気軽に事務局(社務所)までお申し出下さい。



館谷八幡神社氏子青年会参拝

2月25日、あきる野市館谷鎮座、館谷八幡神社の氏子青年会岡部代表以下20名が正式参拝されました。当宮氏子青年会井川会長他がお出迎えいたしました。



東日本大震災復興祈願祭



3月11日震災当日の朝御饗祭で、復興祈願の祝詞を奏上し、職員・一般崇敬者とともに大祓詞3巻を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分にはご参拝の皆様にも呼び掛け社殿前にて、犠牲となられた方々へ1分間の黙祷を捧げました。3月15日には、東日本大震災復興祈願祭を月次祭と併せて斎行し、一日も早い被災地の復興を祈りました。未曾有の大災害をもたらした東日本大震災から7年を迎えましたが、原発事故の問題を含めて、復興はまだまだ道半ばです。「私どもは3・11を忘れません」

研修生2名、卒業記念に神を奉納

今春、國學院大學神道文化学部を卒業の梅原郁彦君と國學院大學別科神道専修Ⅱ類を卒業した平山洋君が、それぞれ4年或いは2年間の当宮での研修を修了し、その記念に神の苗木を奉納しました。この4月から梅原君は二見興玉神社(三重県)、平山君は玉前神社(千葉県)に奉職が決まりました。

氏子青年会だより

1月1日、御神酒の振る舞いと八幡そばを出店し、初詣参詣者を迎えました。2月25日には、創立5周年を迎えて氏子青年の集いを大宮八幡宮清涼殿(羽衣の間)にて開催しました。田中良杉並区長、小宮あんり都議、高円寺氷川神社氏青、馬橋稲荷神社氏青、成宗白山神社若睦会などの来賓をはじめ57名の出席で盛会となりました。



宗教者懇話会街頭募金活動

3月12日、JR阿佐ヶ谷駅3ヶ所にて、杉並区宗教者懇話会(代表幹事当宮宮司)主催・杉並区後援による「3・11東日本大震災支援活動」として、街頭募金活動が行われました。宗教者懇話会は、杉並区内の神道・仏教・キリスト教等の諸宗教者が交流して世界平和に貢献するべく結成されました。寄せられた義援金は杉並区を通じて同区と姉妹都市の福島県南相馬市の「みらい夢基金」に献金されました。



竹駒神社初午大祭(例祭)に参列



3月31日、当宮と姉妹神社の関係を結ぶ宮城県竹駒神社(千葉博男宮司)の初午大祭(例祭)に宮司、五本木・内山の両責任役員が参列しました。

親子で野外体験

スカウトの森にて親子で野外体験会が3月4日、開催されました。ボーイスカウト杉並第13団及びガールスカウト東京第62団の共催で、スカウトやスカウトリーダー等は新入団員募集の為、初心者参加者76名と共に自然とふれあいました。ゲーム大会やみんなで作る野外料理などスカウト活動を楽しみつつ入団を勧めていました。



BSGSスカウト募集



大宮八幡宮が育成母体 BSGSスカウト募集 小学1年生から各学年ごとにいつでも入団できます

大宮八幡の杜 春から夏へ

水無月 夏越の大祓

大祓は6月と12月の晦日に行われ、古くは『延喜式』という平安時代の儀式書にも記され、私たちが知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事です。6月30日、午後4時より夏越の大祓が斎行されます。神門前の参道広場の齋場にて、まず宮司以下が大祓詞を奉唱し各自切麻で自己祓い、形代で全身を撫で息を三度吹きかけます。心身の罪穢れを形代に移して、祓い清め、更に茅の輪神事で「水無月の夏越の祓する人は千歳の命延ぶというなり」と唱えつつ茅の輪を左右左と三回くぐって祓い清めを行います。



大祓詞浄書(水無月書写会)

夏越の大祓に併せて、大宮八幡塾水無月書写会(大祓浄書)が、りんどう会と共催で6月16日より24日まで開催されます。期間中は午前9時半〜午後3時半まで茶室「神泉亭」にて随時受付しており、約900字の大祓詞を書写して大神様のご神徳を戴きます。尚、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に納められます。



多摩清水社例祭

8月1日、朔旦祭に引き続き御神水の湧き出る多摩清水社の例祭が斎行されます。水の大切な盛夏のこの時期に、水神様の御神徳を称え水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。多摩清水社の鳥居前に、阿波野青畝の「広き野に霊の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。



第35回戦没者慰霊祭

8月15日、第35回大宮八幡宮戦没者慰霊祭が斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者の英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念します。当宮幼稚園児の朝日子舞や尺八等の慰霊曲も奉奏されます。



大宮八幡祭り(秋の大祭)

祭典日程のお知らせ

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。
 *神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭は9月14日(金)に斎行する
 *宵宮祭は9月15日(土)に斎行する
 *例祭・氏子奉幣祭、神輿合同宮入りは9月16日(日)に斎行する
 *神輿神霊返し祭は9月17日(祝)に斎行する

平安の雅び第20回乞巧祭り

第20回平安の七夕乞巧奠飾り

乞巧奠飾りが7月1日より15日まで開催されます。清涼殿ロビーにて乞巧奠飾りを再現展示します。技芸上達を願う乞巧奠は、古く平安の世より宮中を中心に広く行われた行事です。また、神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕大宮八幡乞巧潜りが設けられます。また期間中の7日(土)は午後6時より七夕の神遊び(七夕祭・乞巧潜り神事)が斎行され、8日(日)と14日(土)は午後5時より雅楽・神楽の夕べを開催します。



「大宮八幡乞巧守り」を奉製

今年も期間限定で大宮八幡乞巧守りを授与します。学業や技芸の上達を祈願して、笹竹に紅白の七夕人形が付けられたもので、7月1日(朔旦祭)より大宮天神こどもまつりの25日まで受けられます。



昨年度より新規奉製
大宮八幡乞巧結び五色布(諸祈願記入用)
大宮八幡乞巧五色お守り

納涼 大宮天神こどもまつり



夏の風物詩第18回納涼大宮天神こどもまつりが7月24日・25日両日に行われます。24日午後5時より、大宮幼稚園園児、近隣の小中学生、崇敬者の方々からご奉納頂いた多数の書画行燈に灯がともされ、幻想的な雰囲気の中、宵宮祭が斎行されます。翌25日は午後5時より大宮天神祭、祭典の後こどもあかり神輿が元氣よく境内を巡行します。午後6時半より杜のひびきinおのみや(時間をはずした日の祭事)として勇壮な和太鼓の奉納演奏があり、神門前では子供たちで賑わいます。氏子青年会による模擬店(夜店)も出店されます。



書画行燈の募集



納涼大宮天神こどもまつりに当たり「書画」の作品を募集します。書や画は、行燈に貼って灯をともし7月24日の夕刻より大宮天神祭に献灯して、ご社殿前に掲出されます。水彩画又は書等の作品は、指定の用紙を必ず横長に使用して、ご奉納(応募)頂いております。尚、書画行燈は大宮八幡祭りの期間中も掲示されます。[無料](※用紙は社務所にあります。)

国旗のある自由画 コンクール入選作品展

本年も恒例の(一社)国旗協会主催の国旗のある自由画コンクール入選作品展(全国巡回)が6月中旬より7月下旬にかけて開催されます。4歳児から小学6年生までの児童が子供らしくのびのびと画題に見合った金賞・銀賞の入選作品です。大宮幼稚園の園児作品も入選し展示されています。



第5回フォトコンテスト作品募集中 ~締め切りせまる~

大宮八幡宮は都心にありながら広大な境内を有し、周囲を豊かな自然に囲まれています。四季折々に様々な花が咲き誇り木々が生い茂り、参拝者の目を楽ませてくれます。そんな当宮の自然や祭典行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂き、今秋の大宮八幡祭り(秋の大祭)期間中に展示します。ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、第5回フォトコンテストを開催致しますので、皆様奮ってご参加頂きますようご案内申し上げます。



審査風景

過去4回の最優秀賞(宮司賞)入賞の作品

締め切り日 平成30年7月31日

募集サイズ:2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。(一人5点まで) 但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。

プロ・アマ・年齢不問
小・中・高校の学生さんも歓迎!

応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認下さい。

協力写真店

ホットカメラ本店 (浜田山)
 フォトグラフ三光堂 (大宮八幡宮入口)
 カメラハウス本店 (久我山)
 ストックワーク (中野)

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させて頂きます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させて頂きます。)

戌の日詣りは 子育八幡さまの当宮で 安産祈願祭を!

※戌の日以外でも随時お受けしております
 ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにと願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。



いぬ 戌の日早見表

(平成30年5月~9月)

9月	8月	7月	6月	5月
3日(月)	10日(金)	5日(木)	11日(月)	6日(日)
15日(土)	22日(水)	17日(火)	23日(土)	18日(金)
27日(木)		29日(日)		30日(水)

は大安の日です

初宮参り名簿

(平成 29 年 11 月 21 日 ~ 平成 30 年 3 月 20 日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

加藤陽人	高田英奈	松田美紗子	八重櫻楓	深堀新太	箕輪謙志	中田晴	角野凛生	天間明希	外島莉々奈	山本新太	佐藤笑舞
清水源平	田中花怜	伊藤儀一	岡井芹南	甲野恩	熊倉百香	鈴木碧	西村夕利	石井莉奈	西袖紀	遠藤万里彩	梶田連太郎
河石真	北田時光	兒玉紗々	岡庭利奈	駒井杏香	高木一葉	須田まひろ	渡邊陽向	平子真優	細沼通	森田悠紀斗	北野誉丸
大門美己子	中田あこ	吉田唯人	菅原健	水出久登	伴野白花	岩崎海	三浦颯太	萩野元々	岡本俊祐	吉岡洗純	嶋 太
杉山慈果	沼尻心侑	伊藤巧真	池田喜一治	古賀倫太郎	安藤大椰	富田歩花	中野那波	中山隼	松井夕	遠藤晟就	天野孝亮
久光ななみ	下部秀志	田中惟斗	瀬川大翔	清野瑛太	岩瀬昇	長谷目みも	小原榮斗	阿子島匠悟	澤尚之介	高橋ゆうか	坂野芽生
松浦結愛	宮尾悠亜	猪股蒼	日隈智志	中川陽奈未	加藤樹	山際心乃	鈴木悠叶	遠山蔵	高橋ゆうか	岩田英士	坂野芽生
高橋瑞乃	森川陽太	村崎結貴	神崎結貴	齊藤沙耶香	大澤海翔	横田圭吾	富安桃詩	平子真優	細沼通	森田悠紀斗	北野誉丸
秋元まどか	佐分利優衣	秀島健祐	國吉風優音	水出久登	裴輪白花	岩崎海	三浦颯太	國重百々乃	山本杏	吉岡洗純	嶋 太
山本栞平	橋本紗奈	伊野シヨシヤ	柳澤知佳	鳥原千歳	本城花奈	小池楓	中山伊織	中山隼	松井夕	遠藤晟就	天野孝亮
島居倅貴	國本怜奈	佐藤ひなた	會本利子	櫻庭大士	渡部真之	中山伊織	中山隼	阿子島匠悟	澤尚之介	高橋ゆうか	坂野芽生
小澤恭	萩原海斗	本間颯人	谷川冬弥	齋藤良	齋藤歩美	串田登	堤隆真	丸山り	丸山り	丸山り	丸山り
西口律生	福田真千	杉野咲和	大賀凛子	山下英彦	吉澤航	獅子野拓海	戸田光希	松本賢虎	浦山侑也	安藤愛夏	袴田陸
和智蒼	徳永詩織	岩井洗太	佐藤悠人	中野光	村田詢音	實森智也	池上雅人	丸山り	丸山り	丸山り	丸山り
堅谷武尊	吉原一智	加藤由貴奈	大槻柚陽	吉澤航	獅子野拓海	戸田光希	石垣丞	河野真大	稲葉紗弥	三宅真帆	白井陽向
富沢修介	真栄田彩乃	小坂珠莉	安田東吾	今愛之祐	鈴木佑	目々澤澤名	本橋緯弦	佐藤怜	岩田詢希	服部碧人	楠田修治
稲葉舞	小島花奈	津村龍真	中河紗衣香	今愛之祐	鈴木佑	目々澤澤名	本橋緯弦	大澤梁	會淳子	大屋日和莉	泉鈴華
山口果蓮	小島花奈	津村龍真	中河紗衣香	今愛之祐	鈴木佑	目々澤澤名	本橋緯弦	佐藤愛心	馬場一葉里	齊藤心花	澤本芽奈
鈴木魁人	堀内梨子	小川陽喜	田中晴章	小池咲羽	横田琴子	島田一生	依田咲菜	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
中村紗蘭	下地晶葉	本田旭	服部橙央	仲間大琥	森居大地	菅野藍里	依田咲菜	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
京念屋柚	小石八綺	桃井逢希	森大智	田中このみ	矢野神	田中紅主	大前拓己	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
安藤あかり	小針弥生	阿部碧咲	西瑛太	宇野賢祐	岩間柚希	小澤暖人	都倉睦月	大澤梁	會淳子	大屋日和莉	泉鈴華
和久藤雄	井坂碧生	遠山世奈	木村圭吾	岩間柚希	小澤暖人	都倉睦月	都倉睦月	佐藤愛心	馬場一葉里	齊藤心花	澤本芽奈
後藤雄士	遠藤瑞季	遠藤有紗	上野琴葉	市村朔棠	角南凛空	石井陽向	木暮陸也	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
山崎瑛介	久野航明	田島満	藤田壮真	市村朔棠	角南凛空	石井陽向	木暮陸也	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
児玉千紘	平山晏蓮	原科義衣	鎌倉真帆	篠原侑斗	吉村薫	笠原旭	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
前沢美結	菊地常仁	田中絵麻	今村悠紀	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
吉野なつめ	山本蒼士	本郷いろは	矢部煌明	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
金子結	井田唯	野口礼衣	園部能得	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
原開人	池田羽衣	津田道乃	茂木奏斗	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
大倉功聖	藤原颯馬	多田野綱華	戸坂彩花	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
及川瑞稀	市川佳穂	渡邊心結	細田樹希	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
押谷圭悟	田野鈴韻	福田太之	釜田真輝	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
河野圭悟	柏木一輝	野中環那	高梨蒼乃	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
川畑あかり	柳井歩	樋口将一	小柳津太智	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
大熊一颯	長谷山羽萌	狩野日々人	越川颯真	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
町田美咲	鎌田颯司	井出美南	荒知寿	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
富田葉菜	瀨崎陽太	永井愛万	赤石正義	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
金田颯介	根本陽万莉	長谷川蒼	平野篤俊	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
土橋真真	中村光吾	上間陵左	和田結翔	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
吉川百音	山中慧矢	石坂成	小池翠奈	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈
中山千鳳	分島佑理	高橋ひなた	岡島蓮	吉村薫	笠原旭	福島遙真	福島遙真	谷津晴路	永田福人	比嘉心花	澤本芽奈

とんぐり通信

年長組になって一番上のお兄さんお姉さんになることをとても楽しみにしている子どもたち。昨年度、年中組は色々な行事や、毎日の保育活動、そして一番大切な友だちとの遊びの中で、沢山の経験を、学び覚えることができました。まだまだ出来たり出来なかつたりする事はありますが、4月からは年長組のスタートになりました。今一番子供たちの気になっている事は、大宮幼稚園の年長組だからこその「朝日子舞」です。毎月1日の朝日祭、15日の月次祭やその他の色々な祭典の時に男女分かれての舞を、1年間で全員が奉納させていただきます。今年度は4月15日からスタートして29日の昭和祭、5月1日の朝日祭、3日の稚児健康祈願祭、5日の尚武祭と奉納するのですが、お友だちが練習しているのと、「先生何しているの?」「どうして4人なの?」「どんな歌なの?」と次々に質問してきて、興味津々で窓に顔をぺたりつ付けてじつとのぞきこんでいます。「先生、私もやるの?」「名前を呼んでくれるんでしょ?」など毎回4人だけなのでとても特別な感じがあるように、自分の番が来るのを今か今かと待っているのがわかります。初めての練習では4名の顔



今年度は4月15日からスタートして29日の昭和祭、5月1日の朝日祭、3日の稚児健康祈願祭、5日の尚武祭と奉納するのですが、お友だちが練習しているのと、「先生何しているの?」「どうして4人なの?」「どんな歌なの?」と次々に質問してきて、興味津々で窓に顔をぺたりつ付けてじつとのぞきこんでいます。「先生、私もやるの?」「名前を呼んでくれるんでしょ?」など毎回4人だけなのでとても特別な感じがあるように、自分の番が来るのを今か今かと待っているのがわかります。初めての練習では4名の顔

合わせをして、「榊」という漢字を書き「神様の木」と書いて「さかき」と読むのよ!」などという話をします。「ああ、だから神様の葉っぱなんだね!」「大切にしなきゃいけないね!」と理解してくれず、また祭典に参列させていただったので、ふざけないようにきちんとした姿勢で臨むようにと伝えていきます。さすがに年長さんは2年間に亘って神社参拝や始業式、終業式などで神殿内に入らせて頂いているので、「いつものようにして下さい」と伝えるだけで理解してくれます。とても貴重な体験になりますので、一回一回を大切に、大人になっても心に残る「朝日子舞」になるように練習して当日を迎えたいと思います。もう一つは5月12日の裏千家献茶式に併せて開催される「添釜園児茶席」です。神社のお茶会(添釜茶会)の席です。お茶を点てたりして、菓子や運んだり、お茶を点てたりして、お茶の作法やおもてなしの心を学んで頂いています。初めは足を開いて座ついたり、ドタバタと歩いていましたが、お着物や着た茶道の先生方(一つ一つ丁寧に教えていただくと、段々と緊張感を持って、自分たちで気をつける姿が見受けられるようになって来ます。立派な「大宮幼稚園の顔」としてお客様をお迎え出来るよう当日まで頑張ります。この二つの事を楽しみながら、子供たちに年長さんとしての心が芽生え始めていく事を、私はいつも楽しみにしています。



副主任 奥村 佳代子

天間明希 外島莉々奈 山本新太 佐藤笑舞
石井莉奈 西袖紀 遠藤万里彩 梶田連太郎
平子真優 細沼通 森田悠紀斗 北野誉丸
國重百々乃 山本杏 吉岡洗純 嶋 太
萩野元々 岡本俊祐 小島千果 天野孝亮
中山隼 松井夕 遠藤晟就 森下ゆい
阿子島匠悟 澤尚之介 大矢詢仁 小林莉佳
遠山蔵 高橋ゆうか 岩田英士 坂野芽生
細野颯人 小倉大治 戸田錦之介 堀莉彩子
鈴木こころ 川口利依 今浪聖 矢野希歩
原田いと 茅間心晴 伊藤千由璃 萩谷輝生
田中世菜 佐々木杏樹 石川景介 三瓶あお
片山結樞 熊野伊万里 宮本光 上原結乃
石井太貴 渡邊蜜香 廣田創真 林双葉
松本賢虎 浦山侑也 安藤愛夏 袴田陸
丸山り 田中雄大 木村豪汰 澤田康乃介
河野真大 稲葉紗弥 三宅真帆 白井陽向
佐藤怜 岩田詢希 服部碧人 楠田修治
井上朝晴 田中すづ 中村杏菜 飯倉絵麻
三瓶渚 阿部光 安田樹平 佐藤充
袖山日奈子 松山直太郎 安本和弘 日比野真奈
塩田美智佳 屋間伯晴 滝司司 越智あいり
関真心 美谷島陽 田村怜丞 上原篤人
大澤梁 會淳子 大屋日和莉 泉鈴華
佐藤愛心 馬場一葉里 齊藤心花 澤本芽奈
谷津晴路 永田福人 比嘉心花 澤本芽奈
谷田部安梧 京田颯樹 保坂美希 澤本芽奈
勝保朱莉 尾村智哉 塩本奏太
田中理紗 櫻井咲舞 松本昌真

祝 七五三詣

七五三衣裳展示会7月7日より

毎日朝10時~夕方5時まで開催

七五三年齢表

七歳 女兒	平成 24 年生
五歳 男兒	平成 26 年生
三歳 男・女兒	平成 28 年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

結婚式挙式者芳名 (敬称略)

平成 29 年 12 月 11 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

赤石広大・真奈 深町哲郎・智香

緑豊かな都心の杜。感動の瞬間

初詣集 衣装・美容着付・写真・初宮饗宴(ご会食)など承ります。

清涼殿 03(3312)7515

天皇陛下御在位30年奉祝

わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日

わかば祭り 第一日ノ儀 こどもの祭り (稚児健康祈願祭) [3日]
第40回 稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車などが供奉。



先頭を行く
佼成学園吹奏楽部



猿田彦 役員
りんどろっ会と続く



子供太鼓山車の奉曳

わかば祭り 第二日ノ儀



併せて
挙式者の集い開催奉告



挙式者の集い

植樹祭 [4日]



植樹祭

わかば祭り 当日祭(尚武祭) [5日]



宮司以下祭員ら参進



の繁栄を祈る
国家安泰・五穀豊穡・氏子



園児ら朝日子の舞奉奏



盆栽展示 [3日~5日]



古武道武技奉納 [3日]



杉並太鼓奉納演奏 [4日]

大 宮 第111号
平成30年 春の大祭号
平成30年5月1日発行
大宮八幡宮社務所
〒168-8570
東京都杉並区大宮2-3-1
電話 (3311)0105 FAX (3318)6100
Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp



野点茶会 [5日]



雅太鼓奉納演奏 [5日]

大祭期間中 (3~5日)、境内では連日神賑行事が奉納されます。
参道には露店が多数立ち並び、大宮八幡 植木市・盆栽即売会も行われます。